

平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月15日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	11,438	15.1	158	△55.0	201	△48.2	131	△60.3
30年2月期第2四半期	9,935	43.9	352	44.9	389	56.6	331	102.8

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 71百万円 (△78.4%) 30年2月期第2四半期 332百万円 (98.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	6.01	5.94
30年2月期第2四半期	15.17	15.09

※当社は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割をおこなっております。上記では、前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	11,535	4,191	36.3
30年2月期	10,728	4,112	38.3

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 4,189百万円 30年2月期 4,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,954	19.6	329	△33.3	384	△30.7	229	△45.2	10.49

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正につきましては、本日（平成30年10月15日）公表しました「平成31年2月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	21,915,695株	30年2月期	21,875,295株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	2,228株	30年2月期	2,180株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	21,901,857株	30年2月期2Q	21,843,958株

※当社は、平成30年2月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割をおこなっております。上記では、前連結会計年度期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定し、平成30年2月期第2四半期の期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善等により、緩やかながらも回復基調を続けてまいりました。しかしながら、保護主義的風潮の広がりから貿易戦争の様相を呈するなど、先行きの不透明感は払拭できないまま推移しております。

食品業界におきましては、食料品やガソリン等の価格上昇から消費者の節約志向は強まっており、直近の消費動向等に影響を及ぼしております。また、食の安心・安全に対する社会的関心の高まりの他、採用難による人件費の高騰および経営者の高齢化による事業承継問題等多くの課題が山積しております。

このような環境の下で当社グループは、M&Aによる事業拡大を図るとともに、傘下企業において積極的な設備投資や新商品の開発を推進してまいりました。また、グループのリソースと当社の各支援機能（中小企業支援プラットフォーム）を有機的に結合し収益の最大化を図るとともに、経営効率の高い組織づくりに注力するなど、企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、M&Aによるグループ会社の増加により、11,438,328千円（前年同期比15.1%増）となりました。しかしながら、利益面につきましては、前期後半からの原材料費の高騰、得意先からの厳しい条件提示による販売単価切り下げおよび生産性低下による利益率の低下等により、営業利益158,579千円（同55.0%減）、経常利益201,909千円（同48.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益131,717千円（同60.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製造事業

製造事業につきましては、積極的な設備投資および「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、新商品の開発や販路の拡大等の取り組みをおこなってまいりました。

また、前連結会計年度後半より新たにグループ企業となった株式会社ヤマニ野口水産、JSTT SINGAPORE PTE. LTD、当期よりグループ企業となった株式会社おむすびころりん本舗および株式会社まるかわ食品が収益面で寄与したこと等により、売上高は8,897,393千円（前年同期比15.5%増）となりました。

利益につきましては、グループの拡大等により売上高は伸びたものの、引き続き原材料価格高騰等による原価率上昇等の影響を大きく受け、利益は270,275千円（前年同期比41.3%減）となりました。

② 販売事業

販売事業につきましても、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への販売強化および企画提案力の向上に注力してまいりました。

その結果、主要得意先への販売が好調に推移したこと等により、売上高につきましては、2,540,935千円（前年同期比13.7%増）、利益につきましては101,133千円（前年同期比4.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,535,127千円となり、前連結会計年度末に比べて806,905千円増加しました。これは主に、たな卸資産の増加373,943千円および受取手形及び売掛金の増加291,392千円があったことによるものです。

負債は7,343,671千円となり、前連結会計年度末に比べて728,198千円増加しました。これは主に、買掛金の増加354,167千円および借入金等の増減317,312千円があったことによるものです。

また、純資産は4,191,455千円となり、前連結会計年度末に比べて78,706千円増加しました。これは主に、資本金の減少556,013千円、資本剰余金の増加562,881千円および利益剰余金の増加131,717千円があったことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ、172,997千円減少し、1,537,551千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、214,700千円（前第2四半期連結累計期間は275,048千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益213,884千円、仕入債務の増加316,175千円および減価償却費131,048千円等の増加要因に対し、売上債権の増加151,477千円およびたな卸資産の増加214,779千円等の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、431,462千円（前第2四半期連結累計期間は197,213千円の使用）となりました。

これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による支出331,890千円および有形固定資産の取得による支出269,149千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は、220,766千円（前第2四半期連結累計期間は81,719千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,181,734千円等の増加要因に対し、短期借入金の減少1,440,000千円および長期借入金の返済による支出507,748千円等の減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しをおこなった結果、平成30年4月13日付「平成30年2月期決算短信」にて発表しました、平成31年2月期の業績予想を修正しております。

主な要因としては、主要子会社である楽陽食品株式会社において、一部のアイテム（チルド餃子）の急激な受注の増加により、生産体制に不均衡が発生し原価率が上昇したことによります。また、これらに対応するため、新工場を開設することとし、それに伴う費用増加を見込み業績修正をおこないました。

詳細につきましては、本日別途開示いたしました「平成31年2月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,598,471	1,590,587
受取手形及び売掛金	2,752,974	3,044,366
商品及び製品	1,662,163	1,783,669
原材料及び貯蔵品	765,616	1,018,053
その他	129,577	120,733
貸倒引当金	△5,725	△6,338
流動資産合計	6,903,077	7,551,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	726,688	732,000
機械装置及び運搬具（純額）	561,362	680,401
その他（純額）	827,471	793,144
有形固定資産合計	2,115,523	2,205,546
無形固定資産		
のれん	1,325,447	1,317,639
その他	54,070	65,976
無形固定資産合計	1,379,517	1,383,616
投資その他の資産		
その他	417,231	482,454
貸倒引当金	△87,126	△87,561
投資その他の資産合計	330,104	394,892
固定資産合計	3,825,145	3,984,055
資産合計	10,728,222	11,535,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,559,898	1,914,066
短期借入金	1,370,000	30,000
1年内償還予定の社債	24,500	15,000
1年内返済予定の長期借入金	787,390	882,794
未払法人税等	122,343	88,398
未払消費税等	45,248	39,723
賞与引当金	94,298	97,791
その他	846,588	959,278
流動負債合計	4,850,267	4,027,052
固定負債		
社債	65,000	60,000
長期借入金	1,506,871	3,083,279
退職給付に係る負債	45,700	22,533
その他	147,633	150,805
固定負債合計	1,765,205	3,316,619
負債合計	6,615,473	7,343,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,059,447	503,434
資本剰余金	1,248,220	1,811,102
利益剰余金	1,775,156	1,906,874
自己株式	△606	△654
株主資本合計	4,082,218	4,220,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,896	7,463
為替換算調整勘定	24,074	△38,323
その他の包括利益累計額合計	28,970	△30,860
新株予約権	1,560	1,560
純資産合計	4,112,749	4,191,455
負債純資産合計	10,728,222	11,535,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	9,935,755	11,438,328
売上原価	7,744,450	8,903,711
売上総利益	2,191,305	2,534,616
販売費及び一般管理費	1,838,965	2,376,036
営業利益	352,339	158,579
営業外収益		
受取賃貸料	7,011	8,865
補助金収入	5,525	3,146
受取補償金	15,708	10,866
保険解約返戻金	9,518	16,968
その他	7,090	13,070
営業外収益合計	44,854	52,917
営業外費用		
支払利息	6,341	8,632
その他	951	955
営業外費用合計	7,293	9,587
経常利益	389,900	201,909
特別利益		
固定資産売却益	28,222	11,974
特別利益合計	28,222	11,974
特別損失		
固定資産除却損	1,701	—
固定資産売却損	1,819	—
特別損失合計	3,520	—
税金等調整前四半期純利益	414,602	213,884
法人税、住民税及び事業税	113,849	69,952
法人税等調整額	△30,700	12,214
法人税等合計	83,148	82,166
四半期純利益	331,453	131,717
親会社株主に帰属する四半期純利益	331,453	131,717

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	331,453	131,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	780	2,567
為替換算調整勘定	—	△62,398
その他の包括利益合計	780	△59,830
四半期包括利益	332,233	71,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,233	71,886
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	414,602	213,884
減価償却費	99,222	131,048
のれん償却額	47,219	90,756
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,735	4,044
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△55,699	△35,562
受取利息及び受取配当金	△743	△1,415
支払利息	6,341	8,632
固定資産売却損益(△は益)	△26,403	△11,974
固定資産除却損	1,701	—
売上債権の増減額(△は増加)	△318,964	△151,477
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205,522	△214,779
仕入債務の増減額(△は減少)	367,172	316,175
差入保証金の増減額(△は増加)	△8,612	6,471
未払金の増減額(△は減少)	27,785	△48,538
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,494	14,126
その他	35,447	△706
小計	333,786	320,683
利息及び配当金の受取額	743	1,415
利息の支払額	△6,147	△7,474
法人税等の支払額	△53,334	△99,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,048	214,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△165,308	△269,149
有形固定資産の売却による収入	20,231	56,044
無形固定資産の取得による支出	△27,960	△23,084
投資有価証券の取得による支出	△728	△1,868
貸付けによる支出	—	△10,066
貸付金の回収による収入	—	143,000
定期預金の払戻による収入	—	9,261
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△331,890
その他	△23,447	△3,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,213	△431,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35,000	△1,440,000
長期借入れによる収入	300,000	2,181,734
長期借入金の返済による支出	△356,316	△507,748
社債の償還による支出	△10,100	△14,500
自己株式の取得による支出	—	△47
リース債務の返済による支出	△2,624	△5,540
新株予約権の行使による株式の発行による収入	22,321	6,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,719	220,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△11,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,884	△7,883
現金及び現金同等物の期首残高	1,714,433	1,545,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,710,549	1,537,551

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,701,696	2,234,059	9,935,755	—	9,935,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,358	639,023	719,382	△719,382	—
計	7,782,055	2,873,083	10,655,138	△719,382	9,935,755
セグメント利益	460,104	96,955	557,059	△204,720	352,339

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,897,393	2,540,935	11,438,328	—	11,438,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	140,543	595,570	736,114	△736,114	—
計	9,037,936	3,136,505	12,174,442	△736,114	11,438,328
セグメント利益	270,275	101,133	371,408	△212,829	158,579

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。